

議会だより

令和3年5月臨時・6月定例会版



広く聴き 広く報せる



総社市議会 広聴広報委員会

8月定例会市議会の予定	日程	内容
	8月23日(月)	開会
	8月27日(金)	一般質問
	8月30日(月)	一般質問
	8月31日(火)	一般質問・質疑
	9月 1日(水)	委員会
	9月 2日(木)	委員会
	9月 3日(金)	委員会
	9月 9日(木)	閉会

※各日午前10時開始予定です。

特集 復興インタビュー..... 2ページ

主な内容

5月臨時・6月定例会市議会..... 4ページ
 一般質問..... 6ページ
 議場見学、政務活動費の公表..... 13ページ
 委員会活動報告..... 14ページ
 ワクチン接種の支援活動..... 16ページ

復興に向けて・その軌跡 (Vol.11)

西日本豪雨災害から3年 記憶より記録

出前インタビュー

平成30年西日本豪雨災害から3年が経過しました。広聴広報委員会では毎号「復興に向けて・その軌跡」と題し、特集を続けていますが、今号では市内で特に甚大な被害を経験され、地元で先頭になって復旧復興に尽力されている下原地区の小西安彦さんと昭和地区の浅沼弘さんに3年が経過した今、何を思うか、お聞きしました。 ※敬称略



下原地区 小西安彦さん



昭和地区 浅沼弘さん

3年経過した今、思うことは

小西 素直な感想は、まだまだどの思いです。先日も雷が鳴ったとき、大勢の方がびっくりにして家の外に出ていました。中には、また爆発が起きたと思つた方もいて、当時の工場爆発が精神的動揺として今も残っています。

一方で、災害が起きてからは道路の拡幅工事など、なかなか進まなかった整備が進んでいます。また、発災当時の

暑い中、市議会議員の皆さんが毎日水や資材を届けてくださったことは鮮明に覚えています。

浅沼 ハード面だと地域で要望していた草田地区、日羽地区の堤防が設置され、作原地区の堤防は測量段階に入っています。また、美袋地区では排水ポンプが設置されています。住民も目に見える形となつてきて、安心して生活ができるようになってきています。

それぞれの課題

自助・近所(共助)・公助

浅沼 以前は、作原地区では30軒住んでいましたが、今は13軒になっています。一部では空き家となり、雑草が目立ってきています。人口は流出して高齢化も進んでいますが、地域で助け合い、昭和らしく

生活ができればと思います。

まずは、「自助・近所・公助」がつながればと思います。先日は地区の溝掃除に市の被災者寄り添い室の職員がボランティアで来てくれて、被災した方々とコミュニケーションを図ってくれました。

災害から3年経過して見違える部分もありますので、また見に来てください。

小西 下原地区では105軒住んでいましたが、97軒になりました。地区内には建て替え、リフォームをされている方が多くいます。高齢者にとっては、2階への避難が難しく、平屋が多くなつたように思います。



ここまで水位が上がりました



昭和地区では伯備線の架線の高さまで水位が達した箇所があり、多くの家屋が被害を受けました。



下原地区ではアルミニウム工場の爆発によって家屋損壊が発生したうえ、浸水被害が発生しました。

ボランティアに感謝

浅沼 ボランティアの方々に感謝はありません。実際にボランティアの方々の受け入れて感じたことは、受入先とボランティア側をつなぐコーディネーターの重要性で、体制を構築してくれたこと、そして「ボランティアをやつてあげるではなく、やらせてもらう」という気持ちで支援していただいたことでした。

小西 私もボランティアの方々には感謝しありません。実際には酷暑の中、被災者のために毎日多くの方々が、ボランティアに来てくれました。今思い出しても涙が出てきます。他の地域で災害が起きたときには、ボランティアに行かないといけないと思いましたが、下原地区の人も今回の経験で、私のようにボランティアの意識は高くなったと思います。

未来への思い

小西 皆さん道路からセットバックした場所に家を建てています。そのため、道路が広くなり緊急車両の通行もできるようになりましたので、若い人たちも住みやすくなったかなと思います。

浅沼 昭和地区へ移住してきた方がいます。人口減少、高齢化が進む中、移住で一番大切なことは、移住してくる方と地域を結びコーディネーターの存在だと感じました。地域に精通している方が、移住者の方をサポートできる環境づくりが重要だと思います。

後世に伝える 記憶より記録

浅沼 私たち被災者は教訓として残すものもありますが、つらい思い出は忘れないと前に進むことができないと強く思うようになりました。私自身、忘れたと思うことがたくさんありました。記録に残る浸水地点が表示された標識は本当に良いことだと思います。

小西 私が小さい頃、年配の方から堤防が決壊し、災害が起きたことを聞いたことがあります。私たちは、後世に本で災害の記録を伝えていきたいと思っています。

平成30年7月豪雨災害
岡山県総社市下原地区記憶誌

ふるさとの未来へ
私たちが伝えたいこと

下原地区復興委員会の皆さんが、記憶誌を編みました。1,000部発行予定の冊子は地域や市内の小中学校に配布されます。公民館や図書館にも置かれる予定なので、ぜひご覧ください。

制作費用の協力をクラウドファンディングに呼び掛けたことがニュースにもなりました。(募集は終了しています)

5月臨時市議会

5月臨時市議会を5月31日に開き、議案10件(5ページのとおり)を審査しました。

低所得の子育て世帯生活支援特別給付金予算を承認(総社市一般会計補正予算(第2号))

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、低所得のひとり親子育て世帯に対し、生活の支援を行う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金を支給するための予算約5千万円を承認しました。

総社市自宅療養者支援室設置のための予算を可決(総社市一般会計補正予算(第3号))

新型コロナウイルス感染者の増大に伴い、自宅療養者が増加していることから自宅療養者支援室を設置し、自宅療養期間中の市内居住者に対し、医療相談や生活支援を行うため、また、感染による入院や

6月定例市議会

退院後、回復期の患者受入れを行う市内医療機関に対して、受入数に応じて補助をするための予算約4900万円を可決しました。

6月定例市議会を6月10日から6月30日までの21日間の会期で開き、議案11件、陳情2件(5ページのとおり)を審査しました。

低所得の子育て世帯生活支援特別給付金(その他世帯分)予算を可決(総社市一般会計補正予算(第4号))

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金(その他世帯分)を支給するための予算6470万円など可決しました。

溝口踏切拡幅工事について

伯備線総社構内溝口踏切拡

幅工事について、西日本旅客鉄道株式会社と工事委託契約を1億9911万2千円で締結するにあたり、予定価格1億5千万円以上は議会の議決を要することから上程され、可決しました。工期は令和3年11月から令和4年3月の予定です。これにより通学児童生徒の危険が軽減されること

令和3年度総社市一般会計補正予算(第5号)について

主なものは、新庁舎建設に伴う公用車駐車場の減少に備え、石原公園北公用車駐車場の整備費として2622万円。ペーパーレス推進のため庁内LANの無線化に約210万円。災害時や訓練時に屋外の多くの住民等へ呼びかけのため、消防団の活動用品としてポータブルランプとスピーカーのセット一式90万7千円。新型コロナウイルス感染症対策として「教育支援体制整備事業費交付金」を活用し、

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金のための予算を可決(総社市一般会計補正予算(第6号))

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、生活困窮者への追加支援として、実施主体を地方自治体とする新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給が決定されたため、その予算約4500万円が計上され可決しました。

令和3年5月臨時総社市議会 付議事件採決一覧表

番号	件名	結果
報告第3号	予算の繰越しについて(令和2年度総社市水道事業会計予算)	報告を受けた
報告第4号	予算の繰越しについて(令和2年度総社市下水道事業会計予算)	報告を受けた
報告第5号	地方自治法第180条第1項の規定による専決処分について	報告を受けた
報告第6号	地方自治法第180条第1項の規定による専決処分について	報告を受けた
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(総社市職員給与条例の一部改正)	承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(総社市税条例及び総社市税条例等の一部を改正する条例の一部改正)	承認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて(総社市都市計画税条例の一部改正)	承認
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度総社市一般会計補正予算(第13号))	承認
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度総社市一般会計補正予算(第2号))	承認
議案第37号	令和3年度総社市一般会計補正予算(第3号)	原案可決

令和3年6月定例総社市議会 付議事件採決一覧表

番号	件名	結果
議案第38号	令和3年度総社市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
報告第7号	繰越明許費について(令和2年度総社市一般会計予算)	報告を受けた
報告第8号	地方自治法第180条第1項の規定による専決処分について	報告を受けた
議案第39号	総社市個人情報保護条例及び総社市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第40号	総社市心身障害者医療費給付条例の一部改正について	原案可決
議案第41号	土地改良事業計画の変更について	原案可決
議案第42号	工事委託契約の締結について(伯備線総社構内溝口踏切拡幅工事)	原案可決
議案第43号	令和3年度総社市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第44号	令和3年度総社市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第45号	令和3年度総社市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第46号	令和3年度総社市一般会計補正予算(第6号)	原案可決

陳情の審査結果

件名	結果
「より安全な学校給食」の実現に関する陳情	趣旨採択
市道の適正管理の要請と地域自主活動(道路水路を守る会)の安全確保についての陳情	不採択

議長交際費執行状況 「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。(単位:円)

支出区分	支払年月日	支出金額	支出先等
4月からの累計		0	支出はありません



岡崎 亨一

新型コロナウイルスのワクチン接種事業について

問 ワクチン量は確保できるのか。

市長 厚労省から情報提供してもらい、65歳以上の分は確保できる。65歳以上の方向けに確保したうち、未接種者分の5千人分を64歳以下に回す。12歳から64歳の人の推定75%に当たる3万人分について、先ほどの5千人分に加え1万5千人のファイザー製は確保でき、残りの1万人分を大規模接種のモデルナ製で考えている。

問 ワクチン接種の是非についてどう考えるか

市長 かかりつけ医や通所施設、障がい者1500人雇用センター等で総力をあげて対応する。

ヤングケアラーについて

問 市長・教育長の認識はどうか。

市長 以前から気にしている。教育長 ネグレクトも関係しているので心配している。

本市の現状はどうか。

教育長 小中学校で4世帯と把握している。

今後の支援はどうか。

市長 福祉会議の一部に加えて新たな専門部会を作る。

問 条例の制定を考えてはどうか。

市長 次の議会に条例議案を提出したいと思う。



萱野 哲也

問 軽部川の現状をどう認識しているのか

市長 平成30年豪雨災害時、高梁川の支流では内水氾濫が起きた。それぞれ堤防の強化やポンプの新設など目に見えて復興が進んでいるが、軽部川の改修工事は進んでいない。今後の見通しはどうか。

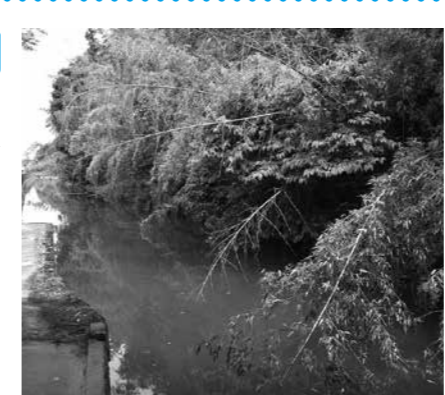
自衛隊との連携について

問 退官した自衛官を本市職員として採用する地域防災マネージャー制度を検討したことはあるのか。

市長 災害後、他市町から派遣職員を受け入れているが今年度で終了予定である。その後検討したい。

自衛隊への住民基本台帳の個人情報提供の提供方法について、名簿を渡すのではなく、住所、氏名が記載された宛名シールで対応してはどうか。

市長 自衛隊側から要望があった場合は、そのように対応していく。



軽部川 市管理箇所

問 具体的にどのようなことを要望していくのか。

市長 県の管理区間において、



三上 周治

コロナ禍の市政運営について

問 市政運営について、何に重点を置いて対応しているか。

市長 現時点では感染防止、感染された方々の対処、ワクチンの接種、また緊縮財政により財政を立て直すことである。

問 市で不可欠なライフラインは何か。

市長 優先度の高い水道・救急・斎場のほか89項目の業務は何か起きてもやっつけていかなければならない。

問 それらの業務に関わる職員が感染した場合の対応はどうか。

市長 担当部署で感染者が出たことを想定して対処方法を定めている。

問 今後、イベントの実施をゼロから見直してはどうか

答 今の状況では中止するのが正しい

問 業務を継続するための計画(BCP)に不可欠な視点は何か。

市長 市長が不在となる場合など、最悪の状況を想定して策定している。

イベントの運営について

問 平成30年西日本豪雨災害やコロナ禍で延期、中止となったイベントは何か。

市長 そうじゃ吉備路マラソン、雪舟フェスタ、赤米フェスタ、れんげまつりなどを中止、延期した。

実施、中止、延期したイベントに対する反響はどうか。

市長 賛否が半々となる場合が多いが、イベントへの反対意見はコロナに関係するものもものすごく大きく聞こえる。



高谷 幸男

問 80箇所余りの避難所に多くの避難者が考えられるが、備蓄品は大丈夫か。また、コロナウイルス感染症の備蓄品の対策はどうか。

政策監 避難所の備蓄品は充足している。また、コロナ対策のための必要品も概ね備蓄している。

自主防災組織の組織率と地域防災計画の状況はどうか。

市長 99・6%の組織率であり、防災計画は38%である。

問 在宅避難者の増加に備え、非常食を備蓄するローリングストック運動の推進はできないか。

市長 推進したいと考える。

教育施設の防災について

問 被災の恐れのある義務教育施設等ほどの程度あり、今

問 法の改正で避難勧告・指示が一本化されたが周知は紙で周知徹底を図りたい

答 ホームページ、7月号広報

後の対応はどうか。

教育長 浸水、がけ崩れなど32%余りが該当するが、ソフト・ハード面からの対応とともに優先順位により整備する。

国勢調査人口について

問 速報値が公表されたが、原因の分析と具体的施策はどう取り組むのか。

市長 障がい者雇用などの福祉施策、企業誘致、外国人の転入などであり、今後は人口減少地域などの新ビジョンの策定により対応したい。

人口増による地方交付税の増額見込みと使途はどうか。

市長 概ね1億7千万円余の増額が見込まれ、今までのにかかった災害の単市分及びコロナ対策などに充当し、健全財政としたい。



根馬 和子

問 救急出動件数はどのくらいあったのか

答 昨年は2555件あったが令和元年より減っている

問 毎日のように救急車がサイレンを鳴らして走っているが、昨年1年間の救急搬送の回数はどのくらいあったか。

市長 2555件である。

問 男女比はどうか。

消防長 男性は1282名で、女性は1124名となっている。

問 年齢区分はどうか。

消防長 搬送者の年齢は、0歳から10歳は113名、11歳から20歳は96名、21歳から30歳は103名、31歳から40歳は105名、41歳から50歳は159名、51歳から60歳は183名、61歳から70歳は323名、71歳から80歳は562名、81歳から90歳は566名、91歳から100歳は187名、



小西 利一

問 コロナ感染の自宅療養者の避難はどう対応するのか

答 市内に専用の避難所を設ける

問 西日本豪雨から3年経過するが、復興はどこまで進んでいるのか。

市長 被災されたほとんどの方から、住まいの確保が一番だと言われた。そして、昭和地区に11世帯の復興住宅を提供することができた。また、みなし仮設として民間アパートで生活している方の家賃の補助を令和5年度まで行っていく。

問 心のケアが大切だと思うが、どのように取り組んでいるのか。

市長 各家庭に足を運び、相談に乗っている。

問 災害に対する意識が薄れないよう、何か取り組んでいるのか。

市長 私自身、機会があるごとに



自転車を活用した健康商品券事業のリン得チラシ。引き続き、参加者を募集しています。

市長 「歩得」については、6月10日時点で4547人が参加しているが、「リン得」については参加者上限500人の中、198人が参加している。



市役所にある事務室の看板

問 地区に自宅療養者がいることを地区の代表者に連絡するのか。

市長 事前に通知する。対応は市のコロナ対策室が行う。

問 CO₂濃度測定器を市役所窓口に設置してはどうか

答 設置する



村木 理英

問 新型コロナウイルス集団接種について

市長 スタッフ不足が懸念されている。厚労省から薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、救急救命士の集団接種での役割の拡大が示されているが、本市ではどうか。

市長 考えていない。

問 将来的に毎年ワクチン接種が必要になる可能性もある。そのためにこの制度を活用する考えはどうか。

市長 今後、考えていく。 **問** 感染予防で密を避けることは重要である。密の基準としてCO₂濃度測定の考えはどうか。

市長 その考えは重要である。



CO₂濃度測定器
アメリカではCO₂濃度が700ppmを超えると感染リスクが高くなると言われている。夏に窓を閉め切ったエアコンを使用するとCO₂濃度が高くなる。換気のタイミングを計る目安として期待できる。

問 「先ず隗より始めよ」のことわざにもあるように、補助金等を交付する前にCO₂濃度測定器を市役所の窓口に設置して、その考えを市民へ周知してはどうか。

市長 設置する。



頓宮 美津子

問 緊急事態宣言が解除になっても、感染防止対策は強化すべきと考える。今後、アクリル板設置などの対策を行う企業・店舗に対して、上限を設けて支援してはどうか。

市長 これまでも独自の様々な方法で支援を行ってきたが、検討する。

問 夜間中学について

市長 不登校児の増加、また外国籍の子どもの増加を背景に教育機会確保法において全ての都道府県に対し、夜間中学の設置・充実に向け、より一層推進を図るよう国からの通知がなされている。岡山県には夜間中学はなく、自主夜間中学だけがある。不登校などの対策として、またひきこもりのステップアップとして、

問 感染拡大防止対策としてアクリル板等の支援はどうか

答 様々な方法があるので、検討していく

問 総社ならではの夜間中学を設立してはどうか。

教育長 学び直しの機会としての夜間中学の役割は十分認識しているが、設立に向けてかなりのハードルがあると考ええる。県とよく相談して考えたい。

市長 ひきこもり対策に全力を挙げてきた。夜間中学の設立という方法も総社の引きこもり対策の一環として、十分期待できる。すぐに設立ということではなく、できることからやっつけていき、検討していきたい。

問 まず、検討委員会を立ち上げてみてはどうか。

市長 検討委員会を立ち上げていきたい。



津神 謙太郎

問 東公民館の建て替え時期はいつ頃の予定か。

市長 池田分館建て替え完了後に、次は東公民館の建て替えを約束する。市の東玄関口として、総社IC、GLP、県立大学があり、地元と協議しながら意義のあるものにしていきたい。



東公民館

教育長 池田分館の後は東公民館の建て替えを考えている。
問 東公民館を複合施設にする考えはあるか。

問 東公民館の建て替えはいつ頃か

答 池田分館建て替え後に東公民館を建て替える

教育長 詳細については、まだ考えてない。今後、地元の方々と協議していきたい。

問 災害時の避難所運営は、コロナ対応等による人数制限等を考えているのか。

市長 3年前の約8600人の避難者を想定した場合は、人数制限はしない。小・中・高及び市の施設を使用して、1人当たり4㎡を確保している。人数制限は考えていない。また、地域の公会堂やその他の方法を考えて対応していく。

問 避難者のカルテ及び名簿を作成する考えはあるか。

市長 昨年の熊本県人吉市が災害援助時に作成しており、今後検討していく。

問 新型コロナウイルス接種に対する本市の方針はどうか

答 一人ひとりに、丁寧に慎重に柔軟に接種を進めたい

教育長 12歳〜15歳のワクチン接種については、国のガイドラインに基づき、専門家会議、医療機関のアドバイスを受けるとともに、保護者の意見も聞きながら方針を決める。

問 働く世代が接種しやすい体制を整えることが必要だ。仕事帰りに接種会場に行ける夕方・夜間の接種はどうか。また、企業に対して、従業員本人の接種(当日や翌日)、子どもや家族の接種に付き添うため「特別休暇」取得を経営者に対して協力要請しては、

市長 夜間接種については、医療機関とも相談し対応したい。ワクチン休暇についても経営者に対して呼び掛けたい。



溝手 宣良

問 いじめは何件あるか。

教育長 令和2年度は小学校76件、中学校40件、令和元年度は小学校96件、中学校34件の報告を受けている。

問 いじめの定義は何か。

教育長 一定の人的関係がある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為で、対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているものだ。(定義は一部抜粋)

問 いじめか否かの判断は誰がしているのか。

教育長 校長である。

問 いじめではないと判断された相談件数は何件あるか。

教育長 報告を求めているため、把握していない。

問 不登校は何人いるか。

教育長 令和2年度は小学校

問 いじめ等の問題が多いと学校の評価に影響があるのか

答 報告が多くとも学校や教員の評価に影響はしない

33人、中学校48人、令和元年度は小学校27人、中学校44人と把握している。

問 個別懇談、家庭訪問、クラス懇談の目的は何か。

教育長 家庭環境を知ることや、子どもの様子を共有することである。

問 問題点が浮かび上がった際の対応はどうか。

教育長 主任や管理職に報告し、適宜職員会議を開き、共有することとしている。

問 保護者への説明員は誰か。

教育長 基本的には担任だ。

問 校長等管理職が守るべき者は児童生徒か、教員か。

教育長 状況次第で教員を守ることもあり得るが、児童生徒が教員かと問われれば無条件で子どもを守るべきである。

問 総社西学校給食共同調理場の跡地活用はどうか

答 早急に公園化の工事に切り掛かりたい

どうか。

教育長 故意による破損は保護者に負担してもらうが、その他については、買い換えを含めて予算化している。

問 リモート学習での通信障害はないか。

教育長 今のところは、持ち帰っての学習は考えていないが、通信環境は調査していきたい。

問 持ち帰り時の修理・補償はどうか。

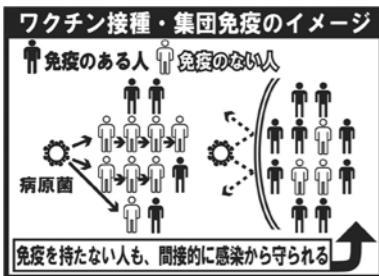
教育長 学校での扱いと同様に考えている。



山田 雅徳

問 今後のワクチン接種への取組はどうか。

市長 総社市感染症専門家会議(吉備医師会・有識者・総社市)での議論を踏まえ取組む。接種を希望する市民に対しては最大限丁寧に対応する。一方で、接種したくない人の権利も尊重することが大切だ。接種は強制ではない、誹謗中傷しないとのメッセージを先頭に立って発信する。9月末に全人口7割の接種を目指す。



集団免疫とは…人口の一定数以上の方が(WHOでは約7割以上と言われています)免疫を持つと、他の人に感染しにくくなり、流行の抑制に繋がると言われています。

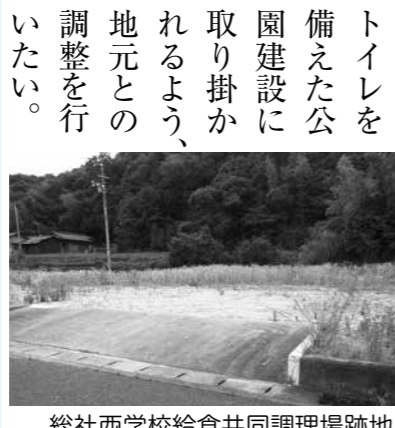
集団免疫とは…人口の一定数以上の方が(WHOでは約7割以上と言われています)免疫を持つと、他の人に感染しにくくなり、流行の抑制に繋がると言われています。



小西 義已

問 総社西学校給食共同調理場跡地の管理及び再利用はどうするのか。

市長 草刈り対応は行う。今後、照明・トイレを備えた公園建設に取り掛かれるよう、地元との調整を行いたい。



総社西学校給食共同調理場跡地

問 小中学校でのパソコン教育について

教育長 授業でパソコンを使うためには、机が小さ過ぎないか。学校の意見を聞きながら、大きめの机を検討していきたい。

問 パソコンの修理・補償は





三宅 啓介

プラスチック資源循環の促進等に関する法律について

自治体の役割と課題をどう考えていくか。

市長 この循環法は来年4月に施行予定だが、運用するのは総社市の役割である。また、海洋ゴミ(マイクロプラスチック)の問題が特に大きな課題で、削減目標などの数字が各自自治体によってまとまりにくいことも課題である。

問 市役所内でプラスチック削減について、どのような取組を行っているか。

市長 市役所内で出たプラスチックゴミの分別や、グリーン購入制度の導入、マイバッグやマイボトルの活用などに取り組んでいる。

問 プラスチック削減の意志を内外に示すべきだがどうか

答 プラスチック削減宣言を市として発信していきたい

問 学校でのプラスチック資源の環境教育についてどう考えているか。

教育長 総社市環境観光大使の野口健氏による環境教育をH21年度から行っている。また、小・中学校の授業でも環境教育は行っているが、プラスチックゴミに特化したものではないので、今後はテキストの作成も含め研究していきたい。

問 プラスチック削減に向けた意志表示と市民周知をどう考えているか。

市長 市として議会と相談し、プラスチック削減宣言市を発信したいと考える。また、野口健氏に協力頂き、マイクロプラスチック問題の動画を作成し配信したい。



難波 正吾

問 県立大学生への生活、経済支援についてどうか

答 民間の力を借りて330万円支援した

問 岡山県立大学の学生はコロナ禍で大変な状況にある。服部地域は、大学とは地元でもあり、開学以来、特別な関係にある。大学祭には婦人会の皆さんが、うどん、そば、おこわなどの店を出し、交流を重ねてきた。また、地域づくり協議会が主催する「安全・健康」講座にも講師として保健福祉学部の先生が講演されたこともあり、大変「密」な関係に喜んでいる。私自身、「不登校、ひきこもり」問題での中央大学教授である宮本太郎氏の講演が今だに記憶に新しいところだ。県大生への生活、経済支援はどうか。

市長 国際ソロプチミスト総社とNS会(長野病院の長野代表主宰)両団体からの寄附200万円、その他から130万円、総額330万円を大学に届けた。県立大学との連携、協力については、新たな段階に入る。市職員565人のうち29人の県大卒業生があり、一大勢力だ。顔の見える関係、友好を深める必要がある。今後、県大出身の市職員と現役の学生による勉強会を設置し、互いの顔が見える関係を築く。イベントへの参加や若者の声を生かした政策立案への協力を求めたい。



岡山県立大学食糧支援「きぼう市」服部駅前にて実施



7月1日に新本小学校3年生9人が、社会科の学習で市役所の役割などを学ぶため庁舎内見学を行い、議場の見学にも来てくれました。

令和2年度政務活動費 収支報告書公表

政務活動費は、市政の課題及び市民の意思を把握・反映させるための活動など、議員の調査研究活動に必要な経費として、総社市議会では一人あたり月額3万5千円が議員個人に交付されます。毎年、全ての金額の領収書を添えて収支報告を行い、残金は返還することが義務付けられています。

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う財政への影響等を考慮して、一人当たり半年分相当の21万円の減額を提案し、返還しました。

なお、領収書や研修報告書等の閲覧は、平日(午前8時30分～午後5時15分)に議会事務局にて行っています。閲覧を希望される方は、どうぞお気軽にお越しください。(問い合わせ 議会事務局 ☎083332)

令和2年度政務活動費収支報告書集計表

Table with 13 columns: 議員氏名, 交付額, 調査研究費, 研修費, 広報費, 広聴費, 要請・陳情活動費, 会議費, 資料作成費, 資料購入費, 人件費, 事務所費, 合計. Rows list individual council members and their respective expenses.

*合計金額が交付額を超える部分は自己負担とし、合計金額が交付額に満たない部分は返還しています。

総務生活委員会

当委員会では審査した案件は、6月定例会では議案2件であり、全て原案どおり可決しました。

主な内容は次のとおりです。

《6月定例会》

- 令和3年度総社市一般会計補正予算(第5号)(議案第43号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

・新庁舎建設に伴う公用車駐車場の整備、*庁内LANの無線化の環境整備、消防団活動備品の購入が主なものである。

問 石原公園北駐車場整備について車庫、倉庫4棟の整備内容はどのようなものか。

答 電気自動車4台、ダンプ等6台、合計10台を駐車するための車庫2棟と、物置に使用する倉庫2棟である。

問 今回の駐車場整備は、新庁舎建設後も使用するためのものか。あるいは、側溝の老

朽化に伴う修繕か。

答 新庁舎建設後も使用するものであり、周辺水路の修繕は老朽化に加え今後大型車を駐車するために、強度があり維持管理しやすいものを設置するためである。

問 庁内LANの無線化で購入する備品は、新庁舎完成後も使用することができるか。

答 購入するアクセスポイント等は、新庁舎でも継続して使用することができる。

問 消防団に配備されるポータブルアンプ・スピーカーセットはどういったものか。

答 CD再生機能付アンプ、スピーカー、マイク、メガホン等のセットであり、スピーカー及びワイヤレスマイク、メガホンは防滴タイプで雨天時も使用可能である。主に消防団実践放水訓練等の各種訓練や防災・防火指導等に使用するが、メガホンについては火災現場等での使用も考えている。

文教福祉委員会

当委員会では審査した案件は、5月臨時会では議案3件、6月定例会では議案4件、陳情1件であり、全て原案どおり可決しました。(陳情1件は趣旨採択)

主な内容は次のとおりです。

《5月臨時会》

- 専決処分の承認を求めることについて(令和3年度総社市一般会計補正予算(第2号))(承認第6号)

《補正予算の主な内容》

・低所得のひとり親子育て世帯に対し、生活の支援を行う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金を支給するため、早急に補正予算の必要が生じたため。

問 この給付金は、児童扶養手当対象者のほか、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、直近の収入が児童扶養手当受給者と同じ水準まで下がった方なども

対象としているが、人数はどのくらいいるのか。

答 対象区分についての予算は275人分、1375万円と余裕を持って計上しており、現在10世帯14人の申請を受け付けており、今後も丁寧に申請を受け付ける。

- 令和3年度総社市一般会計補正予算(第3号)(議案第37号)

《補正予算の主な内容》

・新型コロナウイルス感染者の増大に伴い自宅療養者が増加していることから、自宅療養期間中の者に対し、医療相談や生活支援を行うためのもの。

問 新型コロナウイルスの自宅療養者支援の対象者については、どのような人を考えているのか。

答 市内居住者を考えており、岡山県立大学生など住民票を総社市へ移していない者も対象とする。

問 議決された内容について、

市民全体へ周知するのか。

答 制度は市民全体へ広く周知するが、連絡先などは対象者のみに伝えていく。

《6月定例会》

- 令和3年度総社市一般会計補正予算(第5号)(議案第43号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

・市内幼稚園に保健衛生用品等(子ども用マスクなど)の購入の増額が主なもの。

問 子ども用マスク、消毒用アルコール、ハンドソープなどの衛生用品はどのように幼稚園へ配分するのか。

答 各園のニーズを把握し、必要な用品、数量を配分していきたい。

- 令和3年度総社市一般会計補正予算(第6号)(議案第46号)

《補正予算の主な内容》

・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を支給するための増額が主なものである。

問 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金について、予算額4500万円となっているが、どのように算出しているのか。

答 支援金の上限額が10万円のため、1世帯当たり10万円、対象世帯を150、支給期間3箇月で算出し、予算額を4500万円としている。

産業建設委員会

当委員会では審査した案件は、6月定例会では議案4件であり、全て原案どおり可決しました。(陳情1件は不採択)

主な内容は次のとおりです。

《6月定例会》

- 土地改良事業計画の変更について(議案第41号)

問 事業年度が1年延長になり、総事業費が350万円ほど増額になっているが、主な理由は何か。

答 地権者の意向等を調整する中で、当初計画からはどうしても変更が生じてくる。事

業年度についても同様の理由から延長となっているが、今年度で換地までを完了する予定である。

● 工事委託契約の締結について(伯備線総社構内溝口踏切拡幅工事)(議案第42号)

問 工事期間中の迂回方法を地域住民へはどのように周知するのか。

答 広報紙やホームページ、回覧板等あらゆる媒体を活用して周知していきたい。

問 溝口踏切の拡幅工事に伴い、規制強化の対象となる踏切について、地域住民との折衝はどのようにしたのか。

答 地元説明会をはじめ、土木担当員、周辺の学校関係者等へ直接出向いて丁寧に説明をし、溝口踏切を拡幅するためには必要な規制強化だということでご理解いただいた。

- 令和3年度総社市一般会計補正予算(第5号)(議案第43号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

・西坂台団地汚水処理施設整備事業補助金を交付するための増額が主なものであるが、実際の工事に係る事業費は、総額いくらなのか。

答 倉敷市と総社市にまたがる西坂台団地の汚水処理施設の修繕に係る事業費の総額は517万円である。そのうち、総社市の負担分としては、世帯割で約159万円であり、補助率の40%をかけた金額を計上している。

問 カラスによる桃の食害を防ぐため、鷹匠の導入に伴う補助金として20万円を計上しているが、この金額で事業が実施できるのか。

答 県補助であるが、上限が20万円となっている。不足の部分は事業者が負担することとなる。

市議会も、ワクチン接種を支援しました。

総社市議会は、今回の新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言の状況をもってワクチン接種を支援したいと、議会から当局に対し、申入れを行いました。



ワクチン接種が開始され、

個別接種を実施する医療機関からワクチン輸送用容器等の回収を2班に分かれて、週2回(月曜日と水曜日)行いました。



市職員のワクチン優先接種を申入れ 議長から市長へ！

議会は、ワクチン接種が進む中で、集団接種の運営にあたる市職員の万全な体制構築が必要であり、また職員間でまん延した場合には、市民への影響が非常に大きなものになることが懸念されるため、市長に対し、市職員へのワクチンの優先接種の申入れを6月4日に行いました。

これを受け、コロナ対応の最前線の職員に対して、ワクチン接種が開始されました。



市議会の総意で片岡市長に対して申入れを行う剣持議長、赤澤副議長

編集後記

平成30年7月豪雨の発災から3年が経過しました。発災以来、広聴広報委員会の取材活動として、多くの市民の声を聴き、現場を見て、誌面を通じて復旧・復興の軌跡を皆さんにお伝えしてきました。

あの豪雨災害から、「もう3年経ったのか」と感じる人、「まだ3年しか経っていない」と感じる人、その印象はそれぞれ違うかもしれません。

議会だよりの特集記事を読むことで、「災害に備える」と、自分自身や家族、周りの人をどうやって守るのか」を改めて考えるきっかけになれば幸いです。

(山田雅徳)

◆ 広聴広報委員会のメンバーは次のとおりです。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 赤澤 康宏 |
| 副委員長 | 三上 周治 |
| 委員 | 山田 雅徳 |
| 委員 | 溝手 宣良 |
| 委員 | 三宅 啓介 |
| 委員 | 岡崎 亨一 |
| 委員 | 頓宮美津子 |

おめでとう！梶谷翼(総社市出身)選手

日本人初くオーガスタナショナル女子アマチュア選手権(米国開催)で優勝！

